

弁体離脱式割T字管

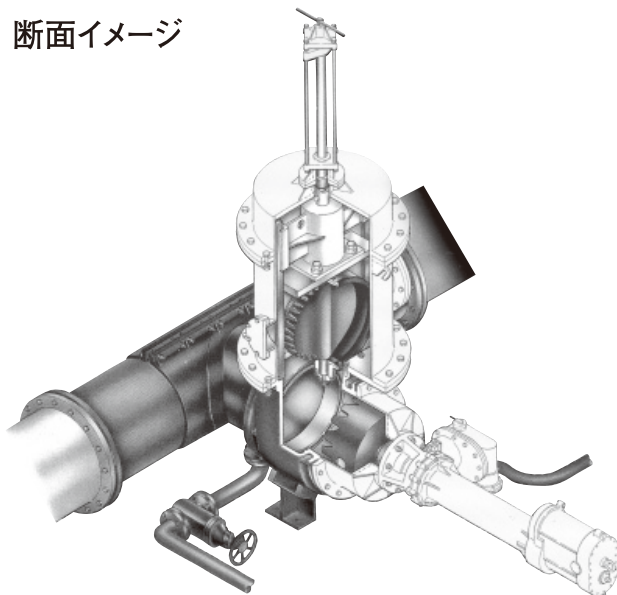
特徴

1. 特殊なバタフライ弁を上下に移動させて、
不断水分岐工事をを行います。
2. ニつ割の本体、不断水分岐用弁体離脱型
バタフライ弁で構成されています。

適用管種

1. 鋳鉄管 2. 鋼管 3. ヒューム管

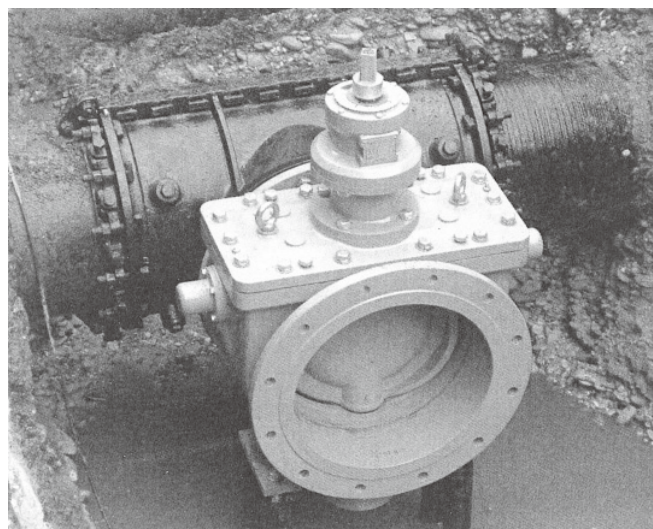
断面イメージ



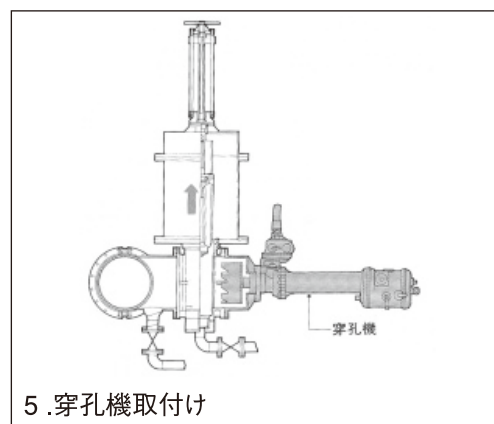
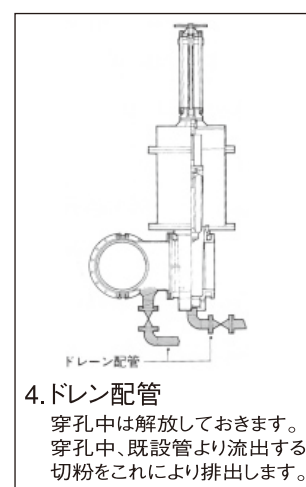
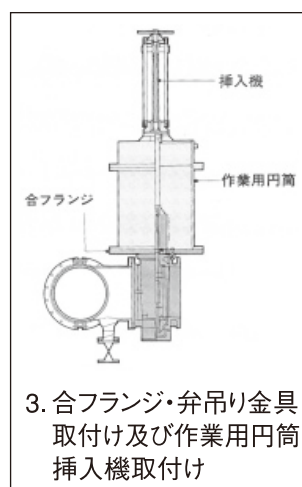
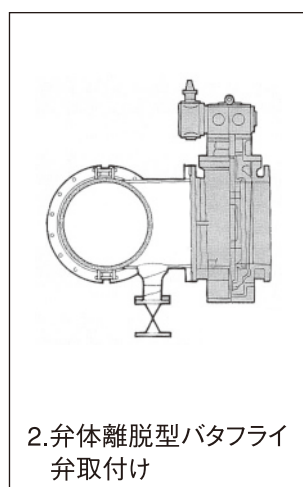
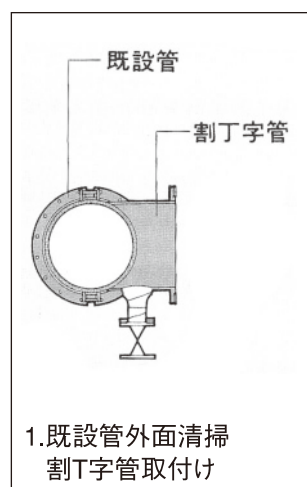
適用口径

φ200～1500

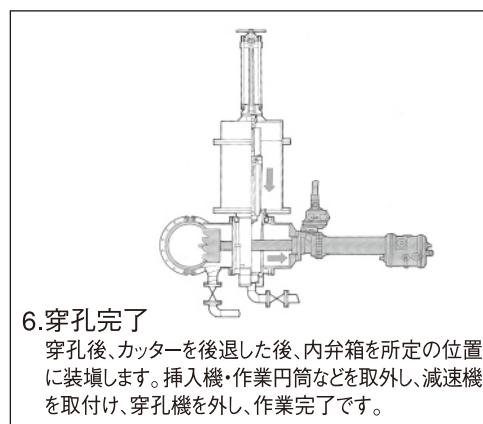
取付け例



不断水分岐工事手順

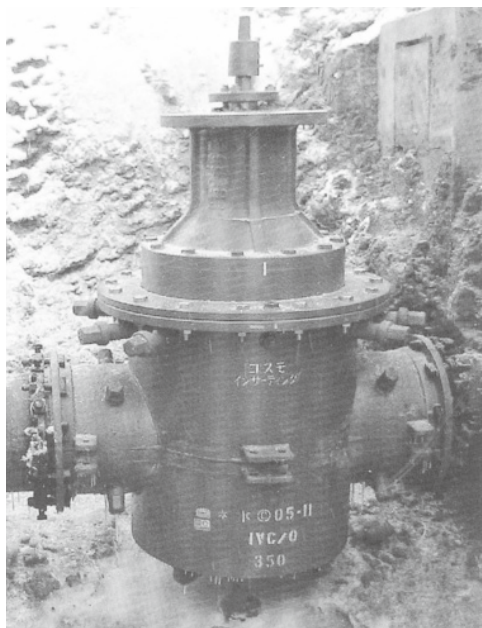


弁体離脱バタフライ弁の内弁箱を上下に移動できるため、既設管を断水することなく穿孔が可能です。
この二重構造が、バタフライ弁の不断水分岐工法への使用を実現しました。



※ バタフライ弁はセンターキャップ式・充水弁体等の仕様にもできます。
※ 価格・詳細につきましては、弊社迄お問い合わせください。

インサーバルブⅣ（スルース弁型）



※丸ハンドルはオプションです。

【本体の取付形式と止水構造】

取付形式	本体のシーム部は、すべて溶接により一体とします。
止水構造	本体の端部の止水構造はメカ式接合で離脱防止押輪を使用するものを基準品とします。ただし、鋼管に設置する場合は溶接により止水するものを標準品としています。

※本体設置完了後は、水圧テストにより止水状態の確認を行います。

【工法概要】

- ①既設管に、不断水にて仕切弁を設置することを目的とした工法です。
- ②既設管路の所定位置にインサー割T字部を設置し、作業弁、耐圧円筒管、コスモポーラー、挿入機など、システム化されたインサートリング工法により、仕切弁を挿入設置します。

【特長】

- ①日本水道協会の検査を受けた仕切弁（JWWA B 122に準拠）を使用します。
- ②共体、摺り合わせ部、弁操作部などはJWWA規格同等です。
- ③手動または電動の減速機を取り付けることができます。
- ④呼び径75以上の弁には、副弁を設置できます。また、必要に応じて配水設備または洗浄設備を設置することもできます。

【適用管種・サイズ】

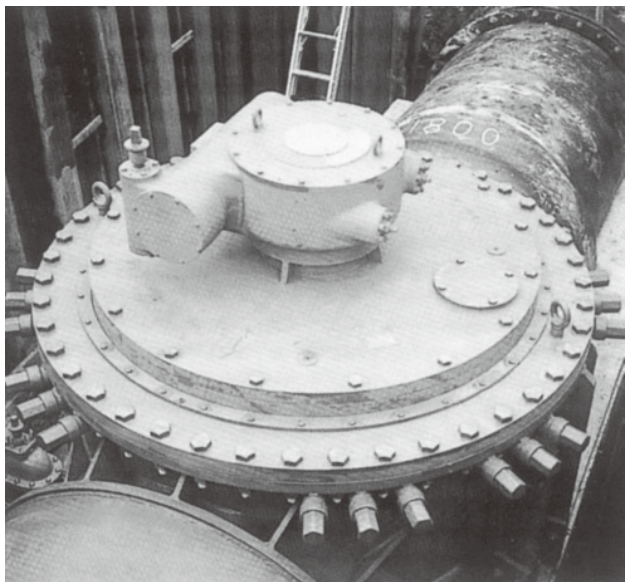
	既設管呼び径
鑄鉄管用	75～900
鋼管用	75～900
ヒューム管用	75～900
石綿管用	石綿管についてはお問い合わせください。

【弁の止水性能】

使用圧力	0.75MPa
------	---------

※使用圧力1.0MPa以上の高圧用の製品も、設計条件に応じて製作可能です。

インターバタフライ弁IB



【本体の取付形式と止水構造】

取付形式	本体のシーム部は、すべて溶接により一体とします。
止水構造	本体の端部の止水構造はメカ式接合で離脱防止押輪を使用するものを基準品とします。ただし、鋼管に設置する場合は溶接により止水するものを標準品としています。

※本体設置完了後は、水圧テストにより止水状態の確認を行います。

【工法概要】

- ①既設管に、不断水にて仕切弁を設置することを目的とした工法です。
- ②既設管路の所定位置にインサー割T字部を設置し、作業弁、耐圧円筒管、コスモポーラー、挿入機など、システム化されたインサートリング工法により、仕切弁を挿入設置します。

【特長】

- ①日本水道協会の検査を受けた仕切弁（JWWA B 38に準拠）を使用します。
- ②共体、摺り合わせ部、弁操作部などはJWWA規格同等です。
- ③手動または電動の減速機を取り付けることができます。
- ④呼び径300以上の弁には、副弁を設置できます。また、必要に応じて配水設備または洗浄設備を設置することもできます。

【適用管種・サイズ】

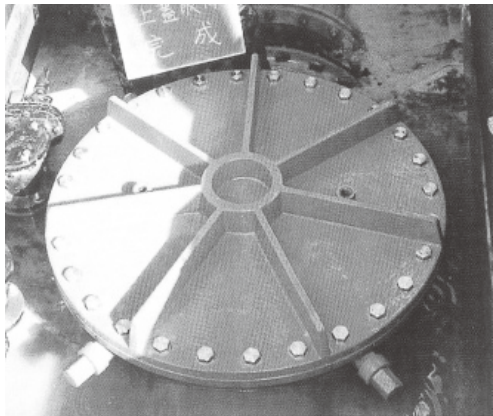
	既設管呼び径
鑄鉄管用	300～2200
鋼管用	300～2200
ヒューム管用	300～1100
石綿管用	石綿管についてはお問い合わせください。

【弁の止水性能】

使用圧力	0.75MPa
------	---------

※使用圧力1.0MPa以上の高圧用の製品も、設計条件に応じて製作可能です。

インサープラグIP



【本体の取付形式と止水構造】

取付形式	本体のシーム部は、すべて溶接により一体とします。
止水構造	本体の端部の止水構造はメカ式接合で離脱防止押輪を使用するものを基準品とします。ただし、鋼管に設置する場合は溶接により止水するものを標準品としています。

※本体設置完了後は、水圧テストにより止水状態の確認を行います。

【工法概要】

- ① 既設管の流れを遮断することを目的とした工法です。
- ② 既設管路の所定位置にインサー割T字部を設置し、インサーテイング工法により、不断水にて既設管管体の一部を穿孔して切片を除去、プラグ本体を挿入して止水します。

【適用管種・サイズ】

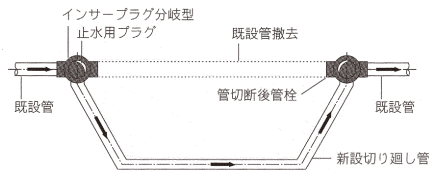
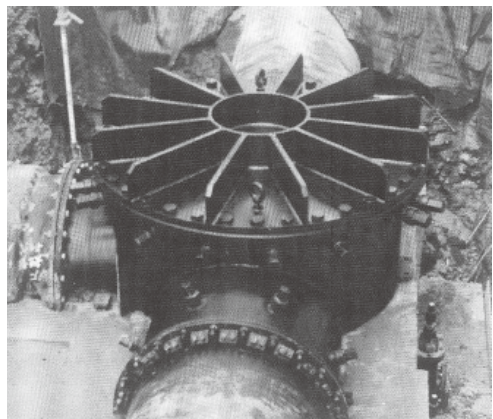
	既設管呼び径
鑄鉄管用	75～2000
鋼管用	75～2000
ヒューム管用	150～1500
石綿管用	75～1200

【プラグ本体の止水性能】

使用圧力	0.75MPa
------	---------

※使用圧力1.0MPa以上の高圧用の製品も、設計条件に応じて製作可能です。

インサープラグ分岐型ID



【本体の取付形式と止水構造】

取付形式	本体のシーム部は、すべて溶接により一体とします。
止水構造	本体の端部の止水構造はメカ式接合で離脱防止押輪を使用するものを基準品とします。ただし、鋼管に設置する場合は溶接により止水するものを標準品としています。

※本体設置完了後は、水圧テストにより止水状態の確認を行います。

【タイプ別水の流れ方向】

1タイプ（既設管右側閉止）			0タイプ（既設管右側閉止）		
左用			右用		

【工法概要】

- ① 既設管路の移設（切回し）工事等における分岐箇所を設置し、移設布設の工事完了後にプラグの挿入を行い、同時に流水の方向を移設管側に切替えることを目的とした工法です。
- ② 既設管路の所定位置に分岐管の付いた特殊な本体を取り付け、インサーテイング工法により上部を穿孔し、R形プラグ挿入、固定します。

【特長】

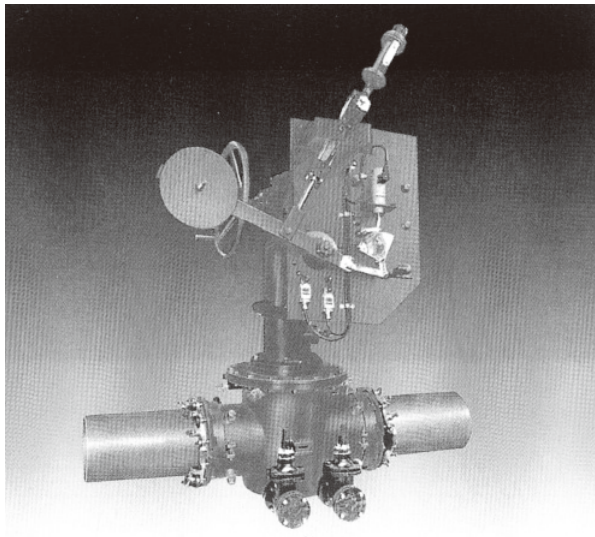
- ① R形プラグは固定形ですので、設置後の操作はできません。
- ② 本体の分岐部は、管軸に直角方向の分岐と管底分岐の2方式があります。両方式とも曲管の溶接により自由な角度（方向）が得られます。
- ③ 副弁または排水設備を設置することができます。

【適用管種・サイズ】

	既設管呼び径	
鑄鉄管用	150～1650	
鋼管用	150～1650	1タイプ
ヒューム管用	150～1100	
石綿管用	150～1200	0タイプ

※既設管と分岐管が同口径の分岐も可能です。
※1タイプと0タイプは以下の通りです。（ただし、分岐側閉止は共通。）
●管軸に直角方向の分岐の場合
1タイプ：既設管右側閉止（左用）分岐管直角・角度付
0タイプ：既設管左側閉止（右用）分岐管直角・角度付
●管軸に直角方向の分岐の場合
1タイプ：既設管管底分岐、右側閉止（左用）
0タイプ：既設管管底分岐、左側閉止（右用）
※分岐方向は、特殊曲管使用により自由です。

インサー緊急遮断弁



【工法概要】

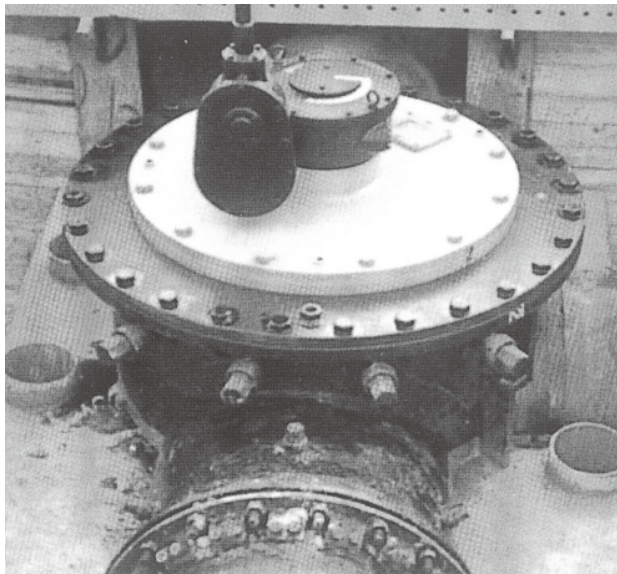
- ① 既設管に、緊急遮断弁を通水したまま簡単に設置できます。
- ② 緊急の際、確実に作動して管路を遮断します。
- ③ 立形ですので、掘削スペースが小さくて済みます。
- ④ コンパクトで、スペースに余裕のない場所に最適です。
- ⑤ 開閉台方式もあります。

【材質】本体:SS400/弁箱:FCD450-10/弁タイ:FCD450-10
弁箱弁座:合成ゴム

【適用管種・サイズ】

	既設管呼び径
ダクタイル鋳鉄管・鋼管用	150～1000

インサー切換弁IR



【工法概要】

- ① 既設管路の移設(切回し)工事等における分岐箇所を設置し、分岐側を閉止状態にして弁体を挿入し設置工事を完了します。移設工事完了後には、弁体の操作により本管側を閉止、または、再度分岐側を閉止するなど、2方向切換えを可能とした工法です。
- ② 既設管の所定位置に本体を取り付け、インサート工法により上部を穿孔し、内弁箱と切換弁を挿入設置します。

【特長】

- ① 分岐側を閉止する状態で扇形弁を挿入するため、分岐部に制水弁を設置する必要がありません。
- ② 本体には分岐管の他、通水および排水用のバイパス管と弁が取り付けられています。
- ③ 設置工事完了に併せ、上部に手動の減速機を取り付けます。

【適用管種・サイズ・種類】

	既設管呼び径	
鋳鉄管用	300～1350	1タイプ
鋼管用	300～1350	
ヒューム管用	250～1200	0タイプ
石綿管用	250～900	

※既設管と分岐管が同口径の分岐も可能です。

※1タイプと0タイプは以下の通りです。(ただし、分岐側閉止は共通。)

●管軸に直角方向の分岐の場合

1タイプ: 本管右側閉止(左用) 分岐管直角・角度付

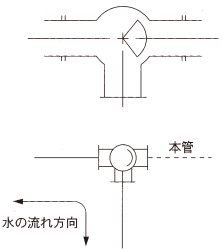
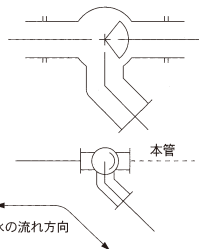
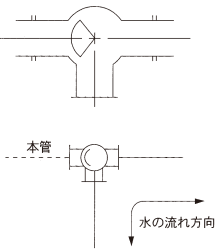
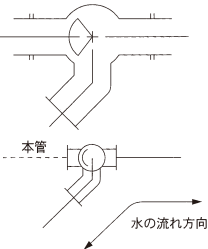
0タイプ: 本管左側閉止(右用) 分岐管直角・角度付

【切換弁の止水性能】

使用圧力	0.75MPa
------	---------

※使用圧力1.0MPa以上の高圧用の製品も、設計条件に応じて製作可能です。

【タイプ別水の流れ方向】

1タイプ(既設管右側閉止)		0タイプ(既設管右側閉止)	
左用		右用	
			

※標準は90°回転です。(180°回転もできます。)